

教育研修

日時 :平成29年10月05日(木)17時10分～17時40分

場所 :新王子病院 4階会議室A

内容 :重症大動脈弁狭窄症に対しBAVの症例

講師:小倉記念病院 副院長、腎臓内科部長 金井英俊先生

重症大動脈弁狭窄症に対する治療のスタンダードは外科的な大動脈弁置換術やTAVI(経カテーテル的大動脈弁留置術)という認識でしたが93歳で透析患者というハイリスクの症例に対しBAV(バルーンによる弁形成術)が行われました。BAVの治療方法を3DCT等の画像で説明があり、深く理解できました

またTAVIとの生命予後の違いや、BAVの有用性をデータを見ながら学ぶ事ができました。

